

志賀直哉「流行感冒」 ゆかりの地マップ



①「我孫子では毎年十月中旬に町の青年会の催しで旅役者の一行を呼び、元の小学校の校庭に小屋掛をして芝居興行をした。夜芝居で二日の興行であった。」元の小学校・・・⑦延寿院(現子之神大黒天)がこの場所にありその建物を利用して明治6年我孫子小学校が開校。明治26年には我孫子高等小学校となる。明治41年我孫子第一尋常小学校と統合され我孫子高等尋常小学校(現在の我孫子第一小学校)となっている。そのため、志賀が元の小学校と表現したのは、この場所だと思われる。

②「帰って来る途、鎮守神前で五、六人の芝居見に行く婆さん連中に会った。」鎮守神・・・我孫子香取神社のこと。



③、④「田圃路を来ると二、三町先の渡舟場の方から三人連れの女がこっちへ歩いて来るのが見えた。」渡舟場・・・現在のポートセンター小池あたりか。田圃路・・・ハケの道のこと

⑤「三、四百人の女工を使っている町の製糸工場では四人死んだというような噂が一段落ついた話として話されていた。」製糸工場・・・山一林組(石橋製糸)のこと、現在のアビイクオーレ

⑥「町の医者が、近くで催される小学校の運動会に左枝子を連れて来る事を妻に勧めていた。然しその頃は感冒がはやり出して居たから、私は運動会へは誰もやらぬ事にした。」